

2024年度の国内及び埼玉県内経済の成長率予測

最近の金融・経済動向を踏まえ、2024年度の国内及び埼玉県内経済の成長率を予測した。2024年度の実質国内総生産の成長率予測は、1.0%（2023年度見込み1.6%）、埼玉県の実質県内総生産の成長率予測は、1.2%（同見込み1.7%）である。その背景は以下のとおりである。

1. 国内経済見通し

2023年度の国内経済をみると、物価上昇等の影響から内需が相対的に伸び悩む中、外需が全体を牽引し、前年度を上回る成長率となる見込み。需要項目別にみると、輸出は、海外経済全体は減速に向かったものの、米国向けが堅調に推移したこと、サービス輸出に分類されるインバウンド消費（海外からの旅行客の消費）が増加したこと、などから堅調な推移となった。一方、輸入は、生産活動の弱さを背景に原油などの鉱物性燃料等が前年割れとなる見込みなどから、減少に転じた。この結果、純輸出（輸出額－輸入額）が前年対比大きな伸びとなり、国内経済を牽引した。

他方、内需関係の需要項目をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れたことから、サービス消費を中心に持ち直したが、消費者物価が食料品を中心に上昇したこともあり、低めの伸びとなった。設備投資も緩やかに増加したが、増加幅は前年からみると緩やかなものとなった。

2024年度は、海外景気の減速が見込まれるものの、内需が主導する形で底堅く推移すると予測する。具体的には、高めの賃上げが見込まれる中、雇用・所得環境の改善が継続するほか、財政政策による経済下支え効果が寄与して、個人消費の持ち直しや企業の設備投資の増加が見込まれる。

2024年度の実質国内総生産の成長率は、1.0%と予測する。

◇個人消費

持ち直す。対面型サービス関連は伸びは鈍化するものの、高めの賃上げが見込まれるなど、雇用・所得環境が改善する。また、減税等も一定の下支え効果を発揮することから持ち直しが見込まれる。23年度比伸び率を高め、1.2%と予測する。

◇住宅投資

弱含み。住宅減税は維持されるものの、住宅地価、資材、人件費の上昇等を背景とした物件価格の上昇等もあり、弱含みと予測する。伸び率を－0.8%と予測する。

◇民間設備投資

持ち直す。好調な企業収益を背景に、デジタル化の推進やグリーン（脱炭素）社会の実現に向けた関連投資を支えに増加すると見込まれる。伸び率を2.8%と予測する。

◇公共投資、政府最終消費

持ち直す。インフレ対策費などを計上した2023年度一般会計補正予算が成立し、追加歳出の総額は、約13兆円となり経済を下支えする。また、2024年度一般会計予算案は過去最大となった23年度当初予算と同規模の112兆717億円（前年当初114兆3,842億円）となっている。公共事業については、防災・減災対策、老朽化したインフラの更新（上下水道等）などが見込まれる。伸び率を1.4%と予測する。政府最終消費は、高齢化が進む中で、医療・介護給付が増加すると見込まれる。伸び率を0.5%と予測する。

◇海外経済及び輸出・生産

緩やかに増加。2024年度の海外経済を展望すると、米国景気は堅調な推移を見込むが、EUは厳しい状況が続くほか、中国は不動産市場の低迷などを背景に緩やかな回復にとどまるなど、全体として景気後退ないし減速を余儀なくされる見通し。また、ウクライナ、中東情勢は解決が見通せないなど、経済安全保障や地政学リスクの高まりなどを通じた貿易量自体の低迷が見込まれる。

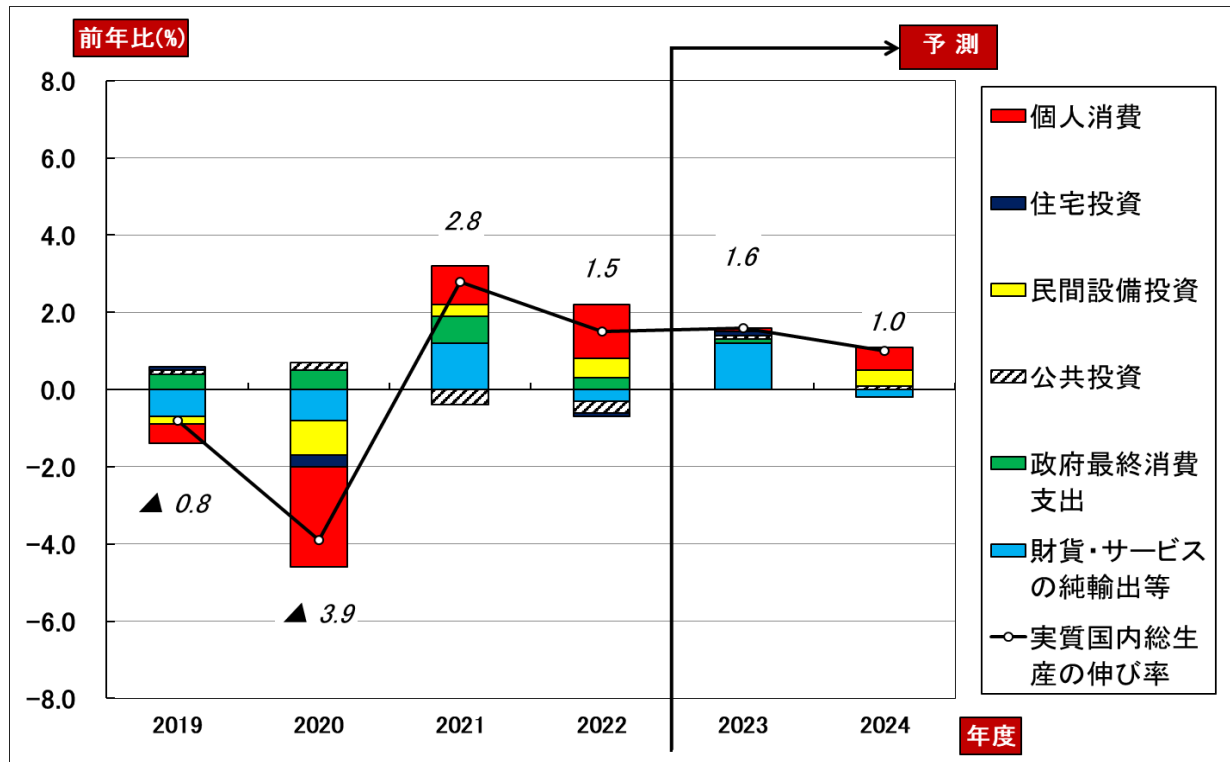
もっとも、輸出はインバウンド消費の堅調持続などもあって、落ち込むことはなく、緩やかに増加する見通し。輸出の伸び率を2.0%と予測する。輸入は国内景気の回復に伴い増加する見通し。輸入の伸び率を2.6%と予測する。景気の牽引役は外需（純輸出）から内需（個人消費、設備投資）にシフトする見込み。また、生産は、内需が底堅いほか、半導体等の需要が回復する見込みから、緩やかに回復すると見込んでいる。

図表 1. 実質国内総生産の成長率

		前年度比伸び率（％）					
年	度	2019	2020	2021	2022 実績	2023 (予測)	2024 (予測)
実質国内総生産		▲ 0.8	▲ 3.9	2.8	1.5	1.6	1.0
	個人消費	▲ 0.9	▲ 4.8	1.8	2.7	0.2	1.2
	住宅投資	2.6	▲ 7.4	0.1	▲ 3.4	1.8	▲ 0.8
	設備投資	▲ 1.3	▲ 5.6	1.7	3.4	0.2	2.8
	政府最終消費支出	2.1	2.7	3.2	1.4	0.6	0.5
	公共投資	1.6	4.8	▲ 6.5	▲ 6.1	2.7	1.4
	財貨・サービスの輸出	▲ 2.3	▲ 9.9	12.4	4.7	3.3	2.0
	財貨・サービスの輸入	0.2	▲ 6.3	7.1	7.1	▲ 2.5	2.6
名目国内総生産		0.0	▲ 3.2	2.7	2.3	5.6	2.8

（資料）内閣府、予測はぶぎん地域経済研究所

図表 2. 実質国内総生産の需要項目別寄与度



2. 埼玉県内経済見通し

2024 年度の県内景気は、国内経済の動きと同様に、海外経済の下押し圧力、消費者物価上昇の影響を受けるものの、内需が主導する形で増加幅を縮小しつつも底堅く推移すると予測する。

当研究所で実施している企業経営動向調査（2023 年 10～12 月）における業況判断 BSI は -16 と、前回 7～9 月期調査（-16）比横ばいとなるなど足踏み状態にあり、企業のマインドの回復は遅れている。これには、企業の販売価格の引き上げが広がってきているものの、調査期間中に円安が進行したこともあり、原材料・仕入価格の上昇、電気料金、人件費の増加に歯止めがかからず、収益の回復が遅れていることが背景にある。

一方で、企業・家計とも、手許資金は相対的に引き続き高水準である。また、県内人口は全国対比でみて堅調に推移している。2024 年度に実施される政府の経済対策は、公共投資のみならず子育て世代の支援、減税、賃上げ促進など人口減少が相対的に緩やかな当県にとってプラスに働くメニューが多い。雇用・所得環境の改善（高めの賃上げ）とも相まって、個人消費は、伸び率を拡大し、底堅く推移、景気を牽引すると見込まれる。

2024 年度の実質県内総生産の成長率は、1.2%と予測する。

(参考) 業況判断 B S I

	2022年				2023年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
全産業	-20	-32	-23	-25	-26	-24	-16	-16
製造業	-15	-38	-24	-29	-41	-38	-21	-22
非製造業	-27	-25	-23	-21	-9	-8	-10	-8

BSI：業況について「良い」と回答する割合から「悪い」と回答する割合を差し引いた数値

(資料) ぶぎん地域経済研究所

◇個人消費

持ち直す。飲食・サービス、旅行、イベント関連の伸びは一服するものの、雇用・所得環境の改善により消費活動の回復が続くものと見込まれる。県内人口が全国対比堅調に推移していることが消費の下支え効果として寄与すると予測する。伸び率を 1.5% と予測する。

◇住宅投資

弱含み。建築コストの上昇がみられるが、住宅減税が継続されること、東京都内から見て地価に割安感があること、居住性を重視した広めの住宅需要が根強いことなどが、県内住宅投資を下支えする。全国対比減少幅は小さい見込み。伸び率を -0.3% と予測する。

◇民間設備投資

増加基調が続く。企業収益は人件費、電力料金等の上昇などの影響を受け、前年度からの回復は緩慢なものにとどまると見込む。しかしながら、当研究所で実施している企業経営動向調査における全産業ベースでの生産（販売）設備 BSI（「過剰」—「不足」）をみると、2021 年 7～9 月調査以降「不足超」が続いており、特に、非製造業では、足許、不足超幅が拡大しており、能力増強投資ニーズは相応に強いと考えられる。また、人手不足に対応した省人化・省力化投資は、「待ったなし」の状態にある。このほか D X 化に向けた対応、脱炭素関連など幅広い分野への投資が見込まれる。伸び率を 2.0% と予測する。

◇公共投資等

底堅い。公共事業は防災・減災のための国土強靱化対策の着実な遂行が予想される。また、公的支出は高齢化の進展を背景に医療費が増加していることなどから、底堅く推移すると予想する。公共投資の伸び率を 1.0%、政府消費の伸び率を 0.7% と予測する。

図表 3. 実質県内総生産の成長率

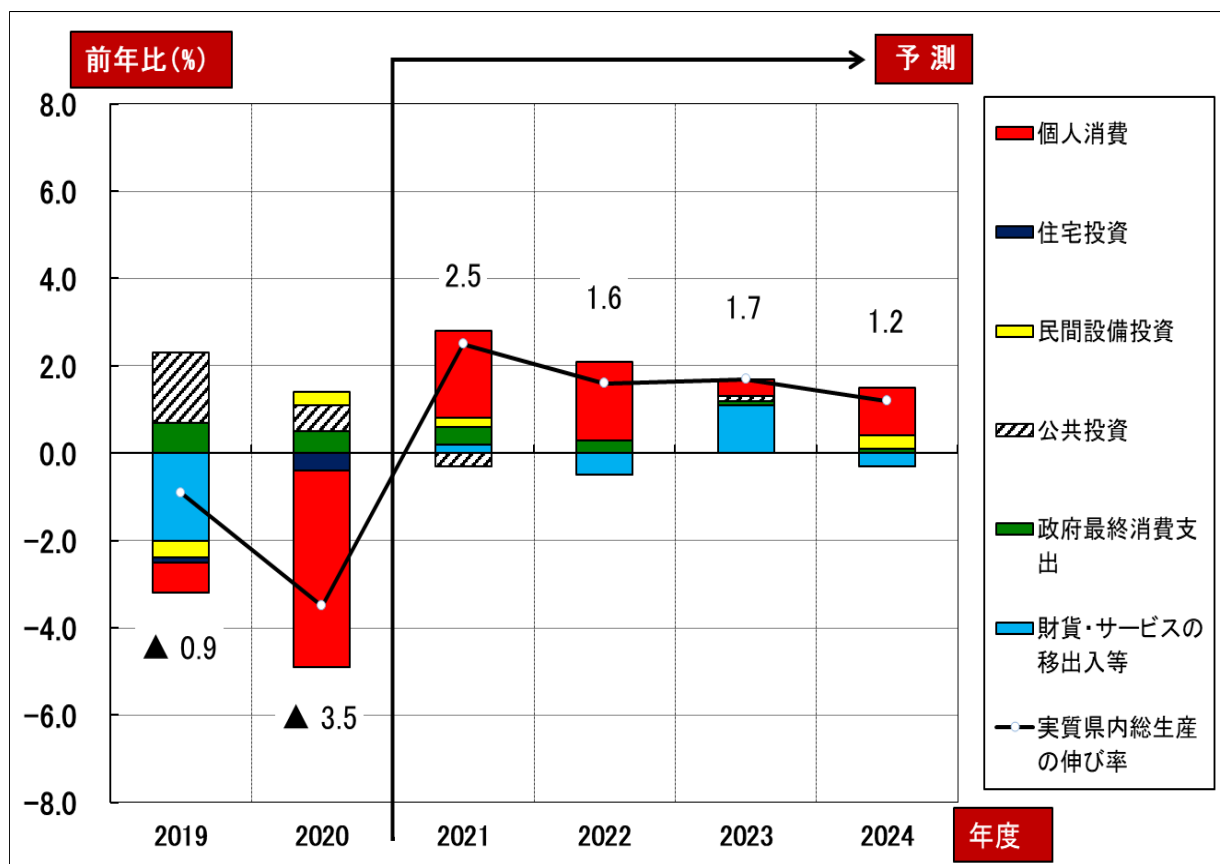
前年度比伸び率 (%)

年 度	2019	2020 実績	2021 推計	2022 推計	2023 (予測)	2024 (予測)
実質県内総生産	▲ 0.9	▲ 3.5	2.5	1.6	1.7	1.2
個人消費	▲ 1.3	▲ 5.9	2.8	2.5	0.5	1.5
住宅投資	▲ 1.2	▲ 8.0	1.0	0.1	0.3	▲ 0.3
設備投資	▲ 3.8	▲ 2.3	2.0	1.2	0.2	2.0
政府最終消費支出	3.3	2.7	2.2	1.6	0.8	0.7
公共投資	52.2	11.9	▲ 5.0	0.0	2.0	1.0
名目県内総生産	▲ 0.5	▲ 2.9	2.4	2.6	5.6	3.0

(注) 2019 年度分から推計方法が見直されており、それ以前と不連続のものがある。

(資料) 埼玉県総務部 推計と予測はぶぎん地域経済研究所

図表 4. 実質県内総生産の需要項目別寄与度



以 上